

告 訴 状

令和2年5月13日

和歌山西警察署

署長 島 泰 弘 殿

告訴人

[Redacted]

告訴人代理人

[Redacted]

法律事務所

弁護士

[Redacted]

弁護士

[Redacted]

被告訴人

[Redacted]

告 訴 の 趣 旨

被告訴人の下記告訴事実記載の行為は、刑法第157条（公正証書原本不実記載罪）に該当すると思料するので、捜査の上、嚴重に処罰されたく告発致します。

告 訴 事 実

被告訴人は、平成25年7月31日、告訴人との虚偽の婚姻届を提出した上、夫婦としての実体は全くなく、[REDACTED]に居住しているにもかかわらず、妻を装って告訴人を世帯主とする[REDACTED]に虚偽の転入届を提出するなどしていたが、令和2年4月22日、和歌山市役所において、同市長に対し、別紙住居異動届書記載のとおり、世帯主を[REDACTED]から[REDACTED]に変更した旨の虚偽の住民異動届を提出し、住民基本台帳に不実の記載をなさしめたものである。

本 件 の 事 情

- 1、被告訴人は、大阪でクラブのホステスをしていた者であるが、平成25年7月31日、その客であった告訴人との虚偽の婚姻届を提出し、妻であると主張して告訴人を追いまわしてきたストーカーである。現在告訴人は、被告訴人とは離婚請求訴訟中である。
- 2、被告訴人は、[REDACTED]に居住しており、告訴人とは同居していない。告訴人は、[REDACTED]に[REDACTED]と暮らしているが、被告訴人は告訴人の妻であることを演出するため、居住の事実は全くないのに虚偽の住民届をし、告訴人を世帯主とする同住所地に転入届を出していた。(資料2)
- 3、ところが、今般の新型コロナウイルスに伴う特別給付金が世帯主に支給されるということを知った被告訴人は、告訴人に隠れて世帯主変更届を出した。(資料1)

現在、告訴人は緊急避難措置として自分の住民票を別の居所に移し、市役所にはその情報を被告訴人に知られないよう手続きを行ったところである。

先般、被告訴人は、告訴人の住むこのマンションに不法に侵入し、同マン

マンションにいた[]に対する傷害の罪で逮捕・勾留されている。

被告訴人による今回の世帯主変更届は、告訴人の特別給付金を不法に取得しようとして企てたものと考えられる。

- 4、被告訴人の言動には常軌に逸したものがあり、そのストーカー行為も悪質であり、嚴重なる処罰を求める。

添付資料

- 1、本件住民異動届（世帯主変更）（資料1）
- 2、住民票（本件事件以前の住民票）（資料2）
- 3、住民票（世帯主が変更された住民票）（資料3）
- 4、住民票（現在の被告訴人の住民票）（資料4）
- 5、被告訴人が婚姻届を変造して提出した虚偽の婚姻届（資料5）
- 6、被告訴人が本件事件前に告訴人と[]が同棲している本件住所地のマンションに来て嫌がらせ行為等を行っていた録画データ（資料6）
- 7、被告訴人が告訴人のマンションに不法に侵入して[]に傷害を与えた事件の映像（資料7）
- 8、仮処分命令申立書と主張書面（1）（[]の方で被告訴人に対して提起した接近禁止仮処分命令申立事件の資料であるが、告訴人と被告訴人とのこれまでの関係を記載している）（資料8,9）